

地域環境保全功労者功績内容等（政令指定都市）

市 別	区分	氏名（団体名）・住所・職業	主 要 経 歴	功 績
川 崎	個人	たかはし としお 高橋 利夫（70歳） 川崎区渡田1-15-2 元川崎市環境保全局理事・公害部長	川崎市公害局水質課長 川崎市公害監視センター所長 (株)ケイエスピーコミュニ ティ環境保全センター長 (財)日本産業廃棄物処理振興 センター参与	川崎市の公害監視センター所長、環境保全局公害部長を歴任し、多年にわたり環境行政の推進に尽力した。 自動監視システムの構築、生活排水対策、洗剤対策推進に先駆的な役割を果たし、大気汚染対策や環境情報システムの構築など、環境行政に多くの功績を残した。
横 浜	団体	港北くらしの研究会 港北区仲手原2-9-13 代表 安藤 光子	設 立 昭和47年7月 構成員 30名	「消費者の購買力」を活用して、グリーン購入・グリーンコンシューマー運動を長年にわたり行っています。 そして、地域のスーパー等を対象とした「地球にやさしいお店」の継続した調査や地域の販売店等への環境を配慮した事業活動の実施要請など、消費者の立場に立った活動により、地域の環境保全活動及び普及啓発に貢献しています。
名古屋	個人	やまもと まさひこ 山本 正彦（71歳） 東区白壁4-21 名古屋市立大学名誉教授	名古屋大学講師 日本結核病学会理事長 名古屋市立大学名誉教授 名古屋市公害対策審議会保健 部会専門委員会 公衆衛生審議会委員	昭和61年から名古屋市公害健康被害認定審査会委員に就任、平成2年から同審査会会長として現在も、認定審査及び更新審査の指揮をとり、公害健康被害の補償等に関する法律の円滑な運用に尽力。 また、昭和62年から名古屋市公害対策審議会保健部会の専門委員として名古屋市特定呼吸器疾病患者医療救済条例の見直し時に、大気汚染と健康影響の関連性について地域の状況を検討する上で、重要な役割を果たすなど地域の環境保全行政の推進に多大の貢献をしている
神 戸	団体	すみよしがわ 住吉川清流の会 東灘区住吉東町2-3-28 代表 会長 藤田 浩三	設 立 昭和54年4月 構成員 49団体	春と秋の年2回、住吉川クリーン作戦を開催している。地元住民が一体となって清掃活動を行い、美化活動に努めるとともに、水生生物（近年はホタルとカワニナ）の放流を行っている。 また、環境保全啓発横断幕や看板、犬のフン害防止啓発用看板、清流の道利用者マナー啓発用の看板を設置するなど、環境保全に多大な貢献をしている。

県別	区分	氏名(団体名)・住所・職業	主要経歴	功績
広島	個人	おがわ みちこ 小川 紀子(66歳) 西区草津梅が丘8-18 (社)広島消費者協会環境部会長	広島市モニタークラブ所属 広島消費者協会に改組 広島県フロン回収推進協議会 委員	(社)広島消費者協会の環境グループ代表として水質浄化のための石けん普及運動などを進める一方、各種の講演会や講座等で講師を務め、消費者の視点から環境問題を論じて市民の環境保全意識の高揚に大きく貢献している。 また、広島県フロン回収・処理システムの構築にも尽力した。
北九州	個人	とようち としゆき 豊内 敏行(67歳) 戸畑区椎ノ木町16-36 豊内産業株式会社代表取締役社長	戸畑新工業団地(協)理事長 全国公害防止協同組合連合会 理事 全国環境協同組合連合会副会 長	北九州市内の住工混在地域に散在する鋼材加工業、機械器具製造業等から出る騒音、振動の公害問題を解決するため、積極的に工場適地への移転を主導し、14社を取りまとめて公害防止事業団の建設譲渡事業により集団移転を実現し、公害の防止を図るとともに、移転先において協同組合の運営、組合員企業の指導にあたることにより、住工混在による公害問題の解消・地域環境改善に尽力した。
福岡	個人	いしにし のぶる 石西 伸(71歳) 東区美和台5-22-14 九州大学名誉教授	博多湾総合調査委員会委員 福岡市公害対策審議会会長 福岡市環境プラン推進委員会 委員 福岡市環境基本計画推進委員 会委員	福岡市公害対策審議会会長、福岡市環境基本計画推進委員会委員、博多湾総合調査委員会委員等として、福岡市の環境行政に大きく寄与するとともに「福岡市環境基本計画」「博多湾水質保全計画」の策定及びその推進に貢献している。